

はじめに

美しい自然と豊かな水に恵まれた琵琶湖・淀川流域は、古くから関西発展の源となり、私たちに癒しと潤いをもたらし、生活や経済活動の糧として計り知れない恩恵を与え続けて来ています。

昨今、地球温暖化の影響が琵琶湖・淀川流域の水環境にどのような影響を及ぼすか、また、どのような対応が求められるのか、早急に行動を始める必要のある課題と考えています。そこで、今年6月18日に「地球温暖化による気候変動の水環境への影響と対策」と題してシンポジウムを開催し、今回、記録集としてとりまとめました。

シンポジウムでは、行政並びに学識者から温暖化や水環境の分野の第一線で活躍される専門家を招いて、「地球温暖化のこれまでとこれから」、「低炭素社会に向けた方策について」、「気候変動の水環境への影響把握のための観測について」、「琵琶湖の水質・生態系の変動と地球温暖化について」、「水災害分野における気候変動への適応策について」について講演をいただき、また、パネルディスカッションでは、「地球温暖化による気候変動への琵琶湖・淀川流域の今後の取り組みについて」の意見交換が行われました。

本誌は、「地球温暖化による気候変動の水環境への影響と対策」シンポジウムの開催記録を取りまとめ、行政を始め広く一般のみなさまに知っていただき、今後の地球温暖化を踏まえた水環境保全活動の一助になれば幸いです。

2009年12月

財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構